

パナリング



臼歯部用

前歯部用

使用目的

パナリングとは噛むトレーニングをするための器具です

床矯正研究会でトレーニングに用いていた既製のチューブを改良し、より使いやすく、より安全性を考慮して新たに製品化したしました。適切な咬合力が加わることにより歯は正しい位置に並びます。バイオリジカルな治療の基本は食事指導ですが、それでも口腔周囲組織の発達が足りない場合にパナリングを使ったかむトレーニングを指導します。

使用方法

パナリング付属説明書をご覧ください。

指導上のポイント

▶ トレーニング指導法①：前歯で咬む指導

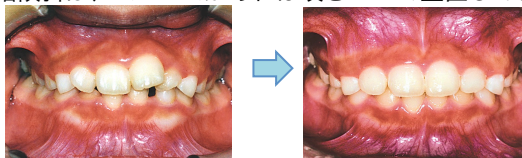
指導目的：前歯部歯槽突起の育成、歯軸傾斜の改善のサポート

対象：以下が見られる場合 ①中顔面の発育不足 ②拡大後の歯軸傾斜、離開 ③開咬 ④発育葉の残存

例) 開咬・浅い被蓋は、咬むことで閉じてきます



例) 歯軸傾斜は、スペースがあれば咬むことで整直してきます



↑前歯部の発育葉が咬耗せずに残っているのは、普段前歯を十分に使っていないということです

▶ トレーニング指導法②：前噛みの指導

指導目的：後退した顎位の改善のサポート

対象：アングル2級で奥噛み癖が見られる患者

アングル2級の患者さんは、下顎を後退させて奥歯だけでものを噛む癖（奥噛み）を有することがあります。リングを前歯で咬んだときに比べて、リングを大臼歯で咬んだとき下顎が大きく後退するようなら、奥噛み癖があることが疑われます。この場合は正しい位置で噛むトレーニングをします。

☆顎位が変わると顔貌が変わります



大臼歯で噛むと下顎が大きく後退します



前歯で噛むと下顎は正しい位置（アングル1級）になりました

▶ トレーニング指導法③臼歯で噛む指導

指導目的：咀嚼筋の発達、歯根膜活性化のサポート

対象：①咬合力が小さい ②臼歯の被蓋が浅い、歯軸傾斜が見られる ③自然保定を期待

咬合力は成人で300N、10歳児で200N以上必要です。[N:ニュートン 1N=0.098kg重]

咬合力が小さい患者さんはこのトレーニングにより咀嚼筋の発達・咬合力の向上を図ります。

指導上の注意

- ・過度のトレーニングは避けてください。
 - ・歯・顎関節の痛みやアレルギー症状など、異常が見られた場合は使用を中止してください。
 - ・使用後は流水でよく洗って乾燥させ、風通しの良い場所で保管してください。
 - ・チューブは消耗品です。劣化したら新しいものに交換してください。
- ※パナリングのチューブは、環境ホルモンに対し安全性を考慮した素材組成からなるオーラルアカデミーオリジナル製造品です。

